

「門舞い」で厄払い

阿仁根子集落に伝わる小正月行事

阿仁根子集落で伝承されている小正月行事「門舞い（獅子舞）」が2月23日、根子児童館で行われました。村の鎮守様・観音堂の縁日である旧暦1月17日に、当番の家で厄年の人々を含む地域の住民を招き、獅子の舞いで一年間の厄を払い安全を祈願するという伝統行事です。お囃子に合わせて登場した2頭の獅子が集まった人々の頭を次々に噛みながら軽快な舞を披露しました。



広報 [No.72]

きたあきた

3/16

[1日.16日 月2回発行]

2008年

3月定例議会

行政報告 (1)

平成20年3月定例議会は、2月28日に開会し、21日までの会期で開かれています。議会初日には、平成20年度の施政方針が示されたほか、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また11日、12日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会へ付託された議案を審議し、21日の最終日に採決が行われます。今号と次号の2回にわたり3月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

総務部関係

■総務課
県からの事務権限移譲については、新たに30事務の受け入れに同意しました。この結果、平成20年4月1日には89の対象事務のうち65事務の移譲となり、移譲率73・08%（19年4月1日現在で39・77%）に達し、移譲率順位では県内の市において1位となります。

平成19年度の職員採用試験は、11月29日に一般職3名、12月6日に消防吏員5名を第2試験合格者として告示しました。

■税務課
19年度の各税目の当初課税状況は、軽自動車税課税額が6878万9千円、固定資産税は1億5197万3百円となっています。

企画部関係

■総合政策課
市移動行政懇話会を、昨年12月、合川地区(13日)、森吉地区(17日)、阿仁地区(20日)、鷹巣地区(25日)で開催し、約200人の市民から貴重なご意見、ご提言をいただきました。機構改革については12月21日、第12回機構改革検討委員会が開催され、大規模な機構改革が1年先延ばしとなったことから、今年4月の機構について協議し、喫緊の課題に向け、「危機管理対策室」と「行財政改革室」の新設を検討しました。

秋田内陸線存続を考える会と北秋田市長との意見交換会が、12月13日、阿仁山村開発センターで開催されました。存続に向けた乗車運動の取り組みとして、阿仁地区では全世帯が乗車回数券を購入し目標を上回る3100枚の購入実績があったことが報告されました。

また、市民団体主催の「新春秋田

内陸線談議」が1月26日、200人を超える市民参加の下、阿仁山村開発センターで開催され、活発な意見交換が行われました。



▲約200人が参加した「秋田内陸線談議」

■財政課
平成19年11月19日以降の主な工事等の発注状況(500万円以上)は49件、契約額は6億4千516万7516万7千円でした。

市民生活課関係

■保険課
平成18年度における北秋田市の一人当たり国民健康保険医療費の状況は、一般が25万4562円、退職が37万2563円、老人が70万5851円となっています。

■医療推進課
昨年12月5日付けで県に提出していた市民病院の開設計可申請に対し、1月23日付けで県から許可の通知がありました。

1月21日には市民病院建設のための建築、電気、機械それぞれの現場事務所が完成し、本体建設工事に着手しました。

指定管理者として予定している厚生連との条件整備のための指定管理者選定委員会を立ち上げ、第1回目の会議を1月28日に開催しました。

■生活環境課
廃棄物の減量化や再資源化に向けた廃棄物減量等推進審議会を12月21日、開催し、14名に審議員の委嘱状を交付後、一般廃棄物処理基本計画素案について審議を行いました。

「北秋田市地域防災計画」は、3月中旬までに策定の予定で県との協議を進めています。策定後には各部署、関係機関へ配布し周知を図るとともに、避難マニュアル、ハザードマップ等の作成を順次行い、防災力の向上に努めます。

平成19年における飲酒運送追放等競争で当市は全県第5位となり、2月13日、県表彰されました。今後も関係機関と協力し、交通安全対策に努めます。

福祉事務所関係

■福祉課関係
2月1日現在の生活保護世帯数は、331世帯、444人となっています。

平成19年度の家庭用灯油の高騰に伴い、低所得者世帯の軽減を図ることを目的として、平成20年1月15日から3月31日までの間、「北秋田市灯油購入費助成事業」を実施しています。

対象は、現年度の市民税が非課税の高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯及び生活保護受給世帯で、助成額は、1世帯あたり5千円、事業費は3500世帯分1750万円を見込んでいます。

昨年4月に開設した障害者生活支援センター「ささえ」の1月末現在の延べ利用者は、来所2242人、訪問458人、電話相談754件で、障害者支援の拠点施設として多くの方々に利用されています。

県内初の幼保連携型施設として建設を進められていた「認定子ども園・しゃろーむ」が、2月21日に県の完成検査後、25日から新園舎で保育を行っています。県の「幼保一体化促進事業」の研究モデル園として本年度指定を受け、その実践研究に取り組んでいます。

高齢福祉課

高齢者福祉事業として実施している「福祉の雪事業」は、登録件数が2月4日現在で1062世帯(一人暮らし世帯644、高齢者世帯371、その他47世帯)となっています。

介護保険事業は、1月末現在の要介護・要支援認定者数が2613人となっており、そのうちサービス受給者が2068人で、認定者数に対する受給率は79・14%となっています。昨年度の同期と比較すると、認定者数で87人、サービス受給者数で139人増加、認定者数に対する受給率も2・77%増加しています。

■地域包括支援センター関係
総合的な相談・支援・権利擁護等の包括的支援事業は、1月末で電話・来所・訪問等による相談件数が、延べ1664件でした。うち虐待を含む権利擁護等は、延べ261件含まれています。

産業部関係

■商工観光課
11月30日、「北秋田大野台工業団地インターネット基盤整備」について、東日本電信電話株式会社秋田支店と協定を締結しました。

1月24日、名古屋市中で開催された「あきたリッチセミナー」に出席し、北秋田市をPRするとともに参加企

業と情報交換を行いました。

冬の観光、レジャースポットである森吉山阿仁スキー場は、12月のオープンから2月末までの間3万6130人が訪れています。

2月9日・10日の2日間、「道の駅鷹巣・大太鼓の館」において「第14回鷹巣もちっこ市」が開催され、市内外から訪れた多くの観光客で会場は大賑わいでした。



▲大勢の人出でにぎわった「もちっこ市」

農林課

平成20年産米の需要量が県から通知されました。本市の数量は1万9232tで、前年と比較し8133tの減(△4・06%)となっています。これに基づき、北秋田市米政策推進協議会(1月15日開催)の協議を経て、鷹巣地域水田農業推進協議会

(1万491t)、阿仁部地域水田農業振興協議会(8千741t)に情報提供をしました。

今後は、各協議会が生産調整方針を作成し、農家に生産目標数量を配分することになっています。

木材公設施設整備事業については、年度途中で法律の一部改正で交付決定時期が遅れたことにより、設計業務委託(地質調査含む)を除き20年度に繰り越し建築工事を施工することになっています。

災害復旧事業については、平成19年9月16日から18日にかけて発生した秋雨前線豪雨災害による農業施設災害復旧工事(補助分)28工区(150箇所)を発注しており、残り13工区(28箇所)は、2月下旬の発注を予定しています。



▲豪雨災害による復旧工事を発注しました

(財)北秋田市体育協会 **スポーツ賞** 受賞者

功労賞3名 特別栄光賞9名 栄光賞9団体・43個人、奨励賞12団体・36個人

財団法人北秋田市体育協会（北林照助会長）が主催の平成19年度同協会スポーツ表彰式が2月23日、市文化会館で開かれ、この1年間にスポーツで功績のあった21団体91人が功労賞、栄光賞など各賞を受賞しました。
また、記念行事として、県立金足農業高校事務長で同高野球部監督の嶋崎久美氏による「雑草軍団とともに」と題した記念講演が行われました。



21団体 91個人が受賞した19年度市スポーツ賞表彰式

受賞者及び関係者など約300人が参加した式典では、「若い力」を斉唱したあと表彰に移り、はじめに長年にわたり各競技の普及・振興、競技団体の運営などで功績のあった方に贈られる功労賞の表彰が行われ、陸上競技の松橋祥介さん、ゲートボールの大川正夫さん、會田欽也さんの3人が松田光朗副会長から表彰状を受け取りました。続いて、「特別栄光賞」、「栄光賞」の個人及び団体、「奨励賞」の個人及び団体が表彰を受け、各選手、チームの代表が順番にステージに上がり、拍手とともに表彰を受けました。

更なる活躍を期待

松田副会長は「昨年は秋田わか杉国体で本県が男女総合優勝という素晴らしい成績を上げた。北秋田市でも4競技が行われた他、山岳競技やバレーボールで本市の選手・チームが活躍した。皆さんは市民にとって大きな誇り。市のスポーツがますます盛んになることを願い、今後の活躍を期待する」と、激励と期待の言葉を述べました。

また岸部市長は「今年はオリンピッククイヤーでスポーツへの関心が高まっている中、本市のスポーツ選手の活躍は目を見張るものがある。スポーツ振興のため、さらなる活躍を期待します」と、祝辞を述べました。

優勝は市民、関係者のおかげ

特別栄光賞を受賞した吉田麻衣子さんが受賞者を代表し「団体に参加、優勝することができたのも、豪雨災害で忙しい中、準備を進めてくれた市民、そして関係者の皆さんのおかげ。多くの方に応援していただき、心から感謝申し上げます。山岳競技で培ったことができた忍耐力、精神力を糧に、多くの方への感謝の気持ちを忘れず、スポーツを続けたい。ありがとうございました」と、謝辞を述べました。

「雑草軍団とともに」嶋崎氏講演

嶋崎氏は「本日受賞された皆さん、本当におめでとう。自信を持つとともに、両親に感謝してほしい。病気や色々な事情でスポーツをしたくてもできない人もいます。スポーツを続けられたのは、両親や周りの人たちのおかげでもある。そのことを忘れないで」と前置きし、講演を始めました。

嶋崎氏は、昭和23年五城目町生まれ。39年に金足農業高校に入学後、野球部で捕手として活躍、42年には秋田相互

銀行（現北都銀行）に入行、銀行マンとして研さんを積むとともに社会人野球の選手として5年間プレイします。

その後、47年には請われて同高野球部の監督に就任、昭和59年の全国高校野球選手権大会でのベスト4進出などこれまで春夏合わせて7回の甲子園出場を果たし、名指導者として知られています。

講演では、選手として野球に取り組んだ中学、高校時代の思い出、銀行員として研さんを積んだ社会人時代、そして、金足農業高校野球部監督を努めた39年間を、選手の指導方法をはじめ、スポーツ選手の育成についての持論、子供の教育論などを含めて熱く語り、聴衆はその説得力のある弁舌に引き込まれていました。

受賞した皆さん

【功労賞】

松橋祥介（陸上競技／・米内沢）
旧森吉町陸上競技協会会長を経て、現在は北秋田市並びに大館市北秋田郡陸上競技協会副会長として組織の運営と選手の育成に尽力されました。
大川正夫（ゲートボール・脇神）
旧鷹巣町ゲートボール協会発足以来役員を務め、現在は北秋田市ゲートボール協会会長として、大会の運営並びに普及活動に尽力されました。
會田欽也（グラウンドゴルフ・伊勢町）

永年にわたり、町や市のグラウンドゴルフ協会の事務局長、副会長、県協会常任理事を務め、大会運営並びに普及活動に尽力されました。

【特別栄光賞】

成田絢子（フエニンシング・日本フエニンシング協会）全日本選手権大会女子フルレ・団体優勝、世界選手権大会女子エペ出場、アジア選手権大会女子エペ出場・団体3位）／吉田清太郎（レスリング・秋田市役所）秋田わか杉国体レスリング競技・成年120キロ級フリースタイル優勝）／松橋美津代（バスケットボール・秋田銀行）秋田わか杉国体バスケットボール競技・成年女子優勝）／吉田麻衣子（山岳・いとく）

秋田わか杉国体山岳競技・成年女子縦走優勝）／松岡慧（フエニンシング・合川高校1年）秋田わか杉国体フエニンシング競技・少年男子フルレ優勝、カデワールドカップフランス大会日本代表・団体3位）／近藤大仁（クロスカントリースキー・鷹巣農林高校2年）全国高校総体男子15キロフリー、10キロクラシカル優勝、同男子リレー優勝）／長岐章公（クロスカントリースキー・同校3年）全国高校総体男子リレー優勝）／高堰美里（クロスカントリースキー・米内沢高校1年）全国高校総体女子10キロフリー優勝）／工藤伸也（フエニンシング・中央大学3年）

全日本フエニンシング選手権大会男子サーブル・個人優勝）

【栄光賞（団体）】

鷹巣農林高校弓道部／鷹巣高校陸上部・リレーチーム／合川高校ソフトテニス部／同校フエニンシング部／前田小学校相撲部／鷹巣クラブ（9人制バレーボール）／七座Aチーム（ユニカール）／鷹巣Eチーム（ユニカール）／北秋田Bチーム（ユニカール）

【栄光賞（個人）】

高橋円／津谷清太／今泉真人／高橋春奈／吉田里美／畠山菜都美／富木鷹介／伊藤悠児／上田康司／齋藤采／福田美香子／清水雄大／田仲信雄／田所拓也／高堰樹里／伊藤史織／御処野光沙／村上弘美／相馬絵里子／金谷友樹／石山直人／佐藤健太／津谷石光／照内かえで／大川翔平／赤石華／金田光司／松橋廣汰／上杉郷／加賀巧哉／櫻井和巧／鈴木舞／梅田香寿美／小野寺真知子／福田幸作／小笠原昭子／金忠雄／桂邦夫／新林行雄／奥田稔／庄司ヨシ子／松岡優斗／伊藤一男

【奨励賞（団体）】

鷹巣同好会（8人制バレーボール）／森吉クマガラ（8人制バレーボール）／鷹巣Cチーム（ユニカール）／鷹巣中学校男子バレー部／同校陸上部・男



秋田わか杉国体山岳競技・成年女子の部優勝などの功績で特別栄光賞を受賞し表彰を受ける吉田麻衣子さん

子リレーチーム／同校スキー部・男子リレーチーム／阿仁中学校陸上部・女子駅伝チーム／森吉中学校テニス部／同校スキー部・女子リレーチーム／東北少年軟式野球大会（秋田県選抜メンバー）／同大会（北秋田選抜メンバー）／合川北小学校野球部

【奨励賞（個人）】

加賀智哉／玉造貴久／松橋皇成／松橋昂大／伊藤麻美／長崎静香／高橋愛沙美／和田智美／松橋悟／武石絵美／三沢翔／藤嶋裕介／中嶋晃大／茂内麻耶／茂内美紅／内山葉月／田口尚幸／佐藤めぐみ／松橋郁香／伊藤佑樹／金夏望／片岡元氣／成田悠大／安部秋子／佐々木祐輔／畠山洋子／嶺脇ルイ／三浦京子／高橋愛子／桜庭ルミ子／津谷妙子／佐々木諒子／藤本知栄子／藤本斉／若松和子／照内直光

産業遺産「阿仁鉱山」の歴史と文化を学ぶ

「阿仁鉱山フォーラム」から

日本の近代化を牽引した鉱山産業の一翼を担った「阿仁鉱山」の保存と活用について語り合うフォーラムが2月23日、市阿仁郷土文化保存伝承館で開かれ、参加者が、同鉱山の歩みを振り返りながら地域振興に結びつける方策や情報発信などについての意見を交換し合いました。

■日本三大銅山の1つだった阿仁鉱山
阿仁鉱山は、1309年に金山として開発されたことから始まり、以来、阿仁地区には小沢銅山ほか5つの銅山（「阿仁六カ山」を阿仁鉱山と総称）が開発され、1716年に



▲阿仁鉱山の歴史と文化について意見交換が行われた「阿仁鉱山フォーラム」(2月23日、阿仁郷土文化保存伝承館で)

は、当時の佐竹藩直営のもと産銅日本一を記録し、日本三大銅山として全国に名が知られました。

明治時代に入ってもその活況は続き、政府はドイツ人鉱山技師を招き入れるなどして、生産増強に力を注ぎました。その後、1885（明治18年）年に当時日本有数だった財閥の一人・古河市兵衛の経営（古河鉱業）に移りましたが、1970年（昭和45年）、資源枯渇により閉山となっていきます。

■日本近代化産業遺跡群に認定
このように、日本の産業の近代化に大きく貢献した産業、土木、交通などに関する「遺産」について経済産業省は昨年、歴史的な役割の再検証や地域活性化に役立てる狙いから、「日本近代化産業遺跡群33」とし

て全国の関係する建造物や遺跡を認定しましたが、そのなかで阿仁鉱山も尾去沢、小坂両鉱山などとともに「有数の金属供給源として貢献した遺産群」として認定されています。フォーラムは、鉱山OBらのメンバーがつくる「異人館倶楽部（代表・阿仁郷土文化保存伝承館・庄司昭館長）」が、産業遺産認定を機に、地域振興へ向けた鉱山遺跡の活用策について探ろうと企画したもので、会場となった阿仁郷土文化保存伝承館には、かつて鉱山業務に関係した人々をはじめとする市民らおよそ50人が参加しました。

■佐竹藩を支えた阿仁の銅

はじめに、古河鉱業阿仁鉱山での就労経験を有し、旧阿仁町の助役を務めた小林精一氏が鉱山の歩みについて基調講演。

このうち、徳川幕府に仕えた佐竹秋田藩の取組みについて小林氏は、「阿仁の銅は、当時の佐竹藩のドル箱的存在で院内銀山とともに藩を支えた」

「銅の産出に特に力を注いだ背景には、関ヶ原の戦いで徳川側につかなかつた佐竹氏が家康の怒りを買って常陸から秋田に移封されたものだから、その汚名返上の意味合いが大であったらしい」などと話し、徳川幕府に対しての、秋田藩と阿仁銅山の犠牲と貢献は大変なものであった事を強調

していました。このほか、明治維新後は国の直営下、富国強兵策での産業近代化による鉱山開発のために外国人技術者を招き入れたことで、阿仁の地がいち早く西洋文化を取り入れ華やいた産業文化を享受できたことや、昭和の時代は、日中戦争や朝鮮戦争などによる軍事特需で活況しつつも、資源枯渇のために、ついには閉山に追い込まれた鉱山の歩みなどについての分かりやすい説明に、参加者たちは興味深めに聴き入っていました。

■鉱山の歴史にまつわる文化遺産も

また、「鉱山の歴史と思い出」鉱山が生んだ文化財などをテーマにパネルディスカッションも行われ、この中で、鉱山で栄えた町の歴史では特に、全国からの技術者や労働者の出入が多かったことから宗派の異なる寺院が5つも存在し、大小の神社も60を超えて祀られていることなど、その文化的価値が各方面から注目されてきたことが述べられました。

なお、同倶楽部では、ボランティア活動として、または学習活動としての参加者を広く募集しております。阿仁鉱山の歴史と貴重な生活文化に興味、関心をお持ちの方は、お気軽に左記までお問合わせください。

■異人館倶楽部事務局
☎ 82-2600

読書感想文・読書感想画コンクール

平成19年度北秋田市読書感想文・読書感想画コンクールの表彰式が2月23日、市文化会館で開催され、特選、入選、佳作の各入賞者が表彰を受けました。今年度の読書感想文部門には小学校・中学校・一般から116点、感想画部門には幼稚園・保育園及び小学校1・2年生から426点の応募がありました。



コンクールは、読書を通じ、豊かな人間性を育むことを目的としているもので、感想文部門と感想画部門が設けられています。表彰式では読書感想画、読書感想文それぞれの部門ごとに入賞者がステージに上がり、三澤仁教育長から表彰状を受け取りました。



表彰を受け、賞状を会場に紹介する入賞者のみなさん (写真は読書感想画の幼稚園・保育園の部)

「読書を楽しみ、心の豊かな人に」(亀山恵子感想文部門審査員長)

続いて、審査結果の講評が行われ、感想文部門では、亀山恵子審査員長（森吉中学校校長）が「普段からこ

りした文章をかける。読書を楽しみ、心の豊かな人になりましょう」と、アドバイスを送り、絵画部門では、佐々木久隆審査員（阿仁合小学校長）が特選を受賞した作品を投影機で上映しながら説明し、綴子小学校2年の工藤夕奈さんの作品「クヌートの本の当のしあわせ」には、「水色の色画用紙に親子のシロクマを白いクレヨンで描き、毛並みも本物のシロクマのように。シロクマ一家が幸せに暮らしているようすがよく表現されている」と、講評していました。

特選及び入選者の皆さん

読書感想文コンクール入賞者

■小学校【3年生】特選・佐藤真凛(鷹巣小学校) / 入選・三澤瑚子(綴子小学校) / 入選・加藤俊文(合川南小学校) / 入選・津谷雄貴(鷹巣小学校) / 入選・齋藤真慶(綴子小学校) / 入選・

清原璃利帆(合川北小学校)【5年生】特選・松尾樹(鷹巣小学校) / 入選・渡部翔(鷹巣中央小学校) / 入選・高屋夏希(米内沢小学校)【6年生】特選・齋藤巧美(前田小学校) / 入選・北林拓朗(鷹巣小学校) / 入選・千葉颯都(鷹巣小学校) / 入選・村上千春(鷹巣南中学校) / 入選・佐藤美知代(鷹巣南中学校) / 入選・高橋佳那子(鷹巣中学校) / 入選・高橋佳那子(鷹巣中学校)【2年生】入選・畠山淑花(鷹巣南中学校) / 入選・佐藤美知代(鷹巣南中学校)【3年生】入選・村上千春(鷹巣南中学校) / 入選・中嶋美枝子(脇神) / 入選・藤田淳(材木町) / 松前谷美樹(米内沢高等学校2年)

読書感想画コンクール入賞者

■幼稚園 保育園 特選・石田真翔(しやろーむ) / 入選・津谷光也(鷹巣中

央保育園) / 入選・福原くるみ(鷹巣東保育園) / 入選・松尾圭翔(鷹巣東保育園) / 入選・堀内俊哉(綴子保育園) / 入選・長崎安依南(綴子保育園) / 入選・嶺脇朝望(しやろーむ) / 入選・宮野美春(米内沢保育園) / 入選・杉渕拓真(あいかわ保育園)

読書感想文コンクール入賞者

■小学校【1年生】特選・梅原琢也(竜森小学校) / 特選・高橋由芽(合川東小学校) / 入選・戸澤香穂(鷹巣西小学校) / 入選・佐藤亜星(鷹巣小学校) / 入選・西根史翔(鷹巣小学校) / 入選・河田亜依(鷹巣小学校) / 入選・佐藤雅(鷹巣南小学校) / 入選・山下梨沙(浦田小学校)【2年生】特選・工藤夕奈(綴子小学校) / 特選・庄司丞(前田小学校) / 入選・畠山校(鷹巣小学校) / 入選・吉田勇人(鷹巣中央小学校) / 入選・佐藤宗一朗(合川東小学校) / 入選・土濃塚悠成(合川南小学校)



特定健康診査、生活機能評価 ・がん検診等は3方式で行ないます

- ・ 集団方式
- ・ 個別方式（市内契約医療機関）
- ・ 国保ドック方式（市内契約医療機関）

いつでもあなたの健康をサポートします

— 平成20年度市健診・予防事業実施計画 —

高齢者の医療の確保に関する法律
による新しい

「特定健康診査」 「特定保健指導」

が平成20年4月から始まります

これまで40歳以上の全市民を対象
に実施してきた市の基本健康診査が、
平成20年4月からは北秋田市国民健
康保険と後期高齢者医療制度加入者
を対象とした特定健康診査に移行し
ます。

心臓病や脳卒中など循環器疾患の
発症要因となる動脈硬化の進行には
メタボリックシンドローム（内臓脂
肪症候群）が深くかかわっています。
新しい健康診査・保健指導は、糖
尿病などを誘発するメタボリックシ
ンドロームの予防と解消を目的とし
ています。

対象となる方には保健センターか
ら「成人検診のお知らせ」、特定健
診の受診券が配布されますので検診
車による集団検診や市内契約医療機
関などで必ず受診しましょう。

● 特定健診を受診する人は？

- ・ 国民健康保険に加入している40〜74歳のすべてのかた
- ・ 後期高齢者医療制度に加入している75歳以上のすべてのかたを対象に年1回実施されます

対象者には他の検診案内も記載した「成人病検診のお知らせ」・特定健診の受診券を世帯ごとに保健協力員が配布します。

● 特定保健指導の対象者は？

- ・ 基本的な検診と問診の結果を総合して生活習慣改善の必要性の判定が行なわれ、その結果を通知します。

「動機づけ支援」「積極的支援」と判定されたかたには、さらに「特定保健指導の通知」が送られますので、検査値改善のため積極的に指導を受けましょう。

● 国保以外の市民は？

- ・ 会社などの社会保険や共済組合などに加入している本人、またその扶養家族の場合は、加入している各医療保険者によって特定健診が

実施されます。

ただし、その扶養家族のかたは、各医療保険者が発行する保険者証と受診券を持参すると、これまでどおり北秋田市国保加入者と一緒に健診を受けられるようになっていきます。

● 特定健診を受ける必要がない人は？

- ・ 妊産婦／病院等に6ヶ月以上継続して入院しているかた／特定施設や介護保険施設に入所しているかた／ドックや事業所健診など特定健診に代わる健診結果を提出できるかた／年度中に転出、転入するかた

● 特定保健指導を受ける必要がない人は？

- ・ 高血圧、脂質異常症、糖尿病治療のため薬剤を服用しているかた



健康増進法による

がん、歯周疾患、骨粗しょう症、 肝炎ウイルス検診

対象年齢は、平成20年度（平成20年4月1日〜平成21年3月31日）に誕生日を迎えた年齢です。



- ① 胸部総合検診 40歳以上のかた
- ② 大腸がん検診 40歳以上のかた
- ③ 前立腺がん検診 50歳以上の男性（治療中の方をのぞく）
- ④ 肝炎ウイルス検診 40歳のかたのみ
- ⑤ 胃がん検診 40歳以上のかた
- ⑥ 子宮頸がん及び卵巣腫瘍検診 20〜39歳の女性（年に1回）
40歳以上の偶数年齢の女性（2年に1回）
- ⑦ 乳がん検診 40歳以上の偶数年齢の女性
- ⑧ 骨粗しょう症検診 40・45・50・55・60・65・70歳及び42〜68歳までの偶数年齢の女性
- ⑨ 歯周疾患検診 40・45・50・55・60・65・70歳のかた

⑩ 喀痰細胞診

50歳以上の喫煙指数600以上のかた

参考資料

- 40歳：昭和43年4月1日〜昭和44年3月31日
- 50歳：昭和33年4月1日〜昭和34年3月31日

国保ドック

対象者

- 北秋田市国保加入者で40〜74歳の男女
- ① 特定健康診査、② 腹部超音波検査、③ 胸部総合検診、④ 大腸がん検診、⑤ 前立腺がん検診、⑥ 胃がん検診、⑦ 子宮頸がん・卵巣腫瘍検診、⑧ 乳がん検診、⑨ 骨粗しょう症検診、⑩ 喀痰細胞診

介護保険法による

生活機能評価

生活機能評価は高齢者の要介護状態や虚弱化を予防し、生活機能の維持・向上を図るためその危険因子を早期に発見するための健診です。特定健診と一緒に受けましょう。

生活機能評価を受けるかた

- ・ 65歳以上のかた
- ・ 特に要支援1・2に認定されたかた、地域における特定高齢者（生活機能が低下している高齢者）が

基本的な対象となります。

※介護度1〜5のかたは受診の必要はありません

予防接種

高齢者及び市国保に加入されているかたの予防接種費用の一部助成を予定します。

実施機関、実施医療機関、接種料金等の詳細については市広報でお知らせします。

- ・ インフルエンザ定期予防接種
- ・ 肺炎球菌予防接種

対象者

- ① 65歳以上のかた
 - ② 60〜64歳の心臓、じん臓、呼吸器機能等に身体障害者手帳1級程度の障害をお持ちのかた
- ※肺炎球菌予防接種をこれまで接種したことがないかたのみ助成対象となります。

※定期接種の対象者を除く

① 北秋田市国保に加入している0〜64歳のかた

個人費用・免除規定・助成額

各種健診自己負担金や免除対象者については、各個人の健診通知や広報等でお知らせします。

※健診や予防接種の際には、必ず健康保険者証・健康手帳をお持ちください

◎問い合わせ先
北秋田市保健センター ☎62-6666



婦人科集団検診

小学校再編統合について意見交換

北秋田市小学校再編整備計画に係る市民との意見交換会から

市教育委員会では、昨年8月から今年2月にかけて、市が進める小学校再編整備計画について住民との意見交換会を開き、計画を説明するとともに、質問や要望を受けました。

意見交換会が開かれたのは、前期計画（19～23年度）で統廃合の対象となる竜森小・鷹巣南小、合川南小・西小・東小・北小、浦田小学校の各学区。各校の保護者や地域の代表者などからさまざまな意見・要望が出されました。その概要をご紹介します。

竜森地区(竜森小)では鷹巣南小との統合に合意



▶ 竜森小での意見交換会（平成19年8月17日）

▲各地区で開かれた意見交換会では、保護者や自治会の方々からさまざまな意見・要望が出されました

市立小学校の学校数は現在、鷹巣地区が7校、合川地区4校、森吉地区3校、阿仁地区2校の16校。児童数は、昭和34年の1万1千147人をピークに減少傾向に転じ、新市が誕生した平成17年度は1938人と、5分の1以下にまで減少し、学校の小規模化が顕著になっています。

市教育委員会では、このような現状を踏まえ、平成17年8月、小学校再編整備計画プロジェクトを設置、市立小学校の適正規模・適

正配置等について検討を重ね整備計画の素案を作成しました。

また、同年11月には20人の市民による整備計画の検討委員会（柳山敏幸委員長）が発足、市教委がまとめた素案の内容を検討、19年3月には岸部市長に対しその答申が出されました。

市教委では答申の意見を反映させた素案をもとに、昨年8月から今年2月にかけて、再編整備によって統廃合の対象となる学区の住民との意見交換会を実施したものです。

計画では、市内の16校を19年度から28年度までの10年間で9校に統合、うち前期計画（19～23年度）では▽竜森小を鷹巣南小に統合▽浦田小を米内沢小に統合▽合川地区の4校を統合して新たな学校を作る、こととしています。

また後期計画（24～28年度）では▽鷹巣西小を鷹巣小に統合▽鷹巣中央と鷹巣南を統合して新校舎を建設することになっています。意見交換会は、昨年8月、統廃合のトップバッターとなる竜森小

学校の竜森地区から始まり、今年2月までに7校の学区及びあいかわ保育園が開かれました。

市教委では、保護者や関係集落の自治会長らが出席した各地区の会場（小学校等）で、市の小学校の現状や学校教育・施設についての基本的な考え、整備計画の概要を説明した上で、住民のみなさんから意見や要望を伺いました。

竜森地区では昨年8月17日と今年1月22日の2回開かれ、同小の閉校と鷹巣南小への統合について合意を得ています。

合川地区では、早期統合を望む声が大半を占め、新校舎の建設場所などについて関心が寄せられました。

浦田地区では、昔は一部が前田小学校であったことの話や学校存続を望む声もありました。

各会場で出された主な質問や意見、市教委の回答は次のとおりです（青字は回答）。

前期計画対象の7校(学区)での意見・要望など

【竜森小学校(平成19年8月17日)】
▽前期計画で鷹巣南小と、後期で鷹巣中央小と統合するが、1回でできないか。

【鷹巣南小学校(平成20年1月24日)】
▽竜森小と鷹巣南小が統合しても人数は増えないのでは。
▽後期計画では、鷹巣南小と鷹巣中央小の統合を計画している。竜森小での意見交換会では、一度に3校統合の意見もあった。また、検討委員会では、高校統合後の鷹巣高校利用や跡地利用を前提とした意見もあった。
▽鷹巣南、中央のいずれも現校舎では2校の児童を収容できないのか。
▽現在の児童数では不可能。築37年を経過していることもあり、財政事情にもよるが計画後期での建築を予定している。

【合川南小学校(平成20年2月7日)】
▽合川南小は規模も小さく、統合は切実な問題。複式学級の解消など子どもたちの将来を考え、早く進めてほしい。合川地区管内での統合は前期になっっているが、具体的な年度は、
【合川西小学校(平成20年2月8日)】
▽統合は早いほうがよい。4小学校のいずれかの校舎を補修して使用できないか。

【鷹巣南小学校(平成20年1月24日)】
▽後期計画では、鷹巣南小と鷹巣中央小の統合を計画している。竜森小での意見交換会では、一度に3校統合の意見もあった。また、検討委員会では、高校統合後の鷹巣高校利用や跡地利用を前提とした意見もあった。
▽鷹巣南、中央のいずれも現校舎では2校の児童を収容できないのか。
▽現在の児童数では不可能。築37年を経過していることもあり、財政事情にもよるが計画後期での建築を予定している。

【合川西小学校(平成20年2月8日)】
▽統合は早いほうがよい。4小学校のいずれかの校舎を補修して使用できないか。

北秋田市小学校再編整備計画（案）		
現状	前期	後期
19年度	19～23年度	24～28年度
鷹巣	鷹巣	鷹巣 (既存校舎)
鷹巣西	鷹巣西	
鷹巣東	鷹巣東	鷹巣東
綴子	綴子	綴子
鷹巣中央	鷹巣中央	仮称 鷹巣南 (新築)
竜森	鷹巣南 (既存校舎)	
鷹巣南		
米内沢	米内沢 (既存校舎)	米内沢 (新築)
浦田	前田	前田
前田	阿仁合	阿仁合
阿仁合	大阿仁	大阿仁
大阿仁	仮称 合川 (新築)	仮合 称川
合川東		
合川西		
合川南		
合川北		
16校	11校	9校

▼竜森小、鷹巣南小の規模を考えるとそのとおりだが、南小、中央小とも現校舎では3校の児童が入りきらない。また前期は合川地区の小学校の建設計画もあり、財政的な事情もある。
▽以前からいざれ統合の時期が来ることはわかっていた。米代川から南側に小学校1校、中学校1校（鷹巣南中）とし、できるだけ早く建設してほしい。建設時期は。
▼後期計画（24～28年度）だが年度は未定。後期では米内沢小の改築とともに、鷹巣南小、中央小の統合を進めることになる。
▽統合後の校舎の用途は。
▼基本的には解体だが、地域のみ皆さんの意見を聞きながら有効活用を図りたい。使用の希望などが

あった場合も関係部所と協議して有効利用したい。
▽統合後の通学方法は。
▼スクールバス運行になる。
▽あいさつや地域との関わりを考えるとここほどよい学校はない。むしろ児童が多い学校の子を竜森小に入れたらよいと思うのに、なぜ統合なのか。
▼ある程度の集団・規模の中で切磋琢磨して成長できる教育環境と学校教育の充実が必要と考えている。

▽低学年、高学年でそれぞれ下校時間が違う。その対応は。
▼朝は1便、帰りは時間帯にあわせて送ることになる。
▽学校間交流の頻度は。
▼現在でも、鷹巣南、竜森小で学期ごとに1回づつ行われているが、今後はさらに機会が増える。竜森小の大きな特色である育林学習、育林活動は伝統を引き継ぎ統合後も展開したい。

【鷹巣南小学校(平成20年1月24日)】
▽後期計画では、鷹巣南小と鷹巣中央小の統合を計画している。竜森小での意見交換会では、一度に3校統合の意見もあった。また、検討委員会では、高校統合後の鷹巣高校利用や跡地利用を前提とした意見もあった。
▽鷹巣南、中央のいずれも現校舎では2校の児童を収容できないのか。
▽現在の児童数では不可能。築37年を経過していることもあり、財政事情にもよるが計画後期での建築を予定している。

▼まずは4学区の皆さんの統合に向けた意思統一が必要。その後、場所や予算などを検討することになるが、校舎完成までは3年から4年はおそらくかかるものと思っている。

▽建設場所にもよると思うが、通学方法はどうか。

▼遠距離通学費の補助、路線バス定期券の交付、スクールバス運行などが考えられる。

▽統合後は児童数が増え、子どもたちがとまどうのでは。

▼統合が決まると、4つの小学校間で交流事業を行い、徐々に友だち関係を築きながら統合に向かうといった準備をして行く。現在修学旅行も一緒だが、運動会などもそうすることになるだろう。

▽（意見）統合した場合、校舎は木造で木の温もりがあるものにしてほしい。

【合川東小学校（平成20年2月12日）】

▽統合はやむをえない。心配なのは登下校の安全対策。仮に合川中付近だとすると東小児童は橋をわたることにもなり、安全上の配慮をお願いしたい。

▼教育委員会では児童の安全安心を第一に考えたい。

▽これまで1学級20人前後で先生方の目が行き届いていた。また、全国

学力調査でも秋田県がトップだったが、これは先生方の努力の賜物だろう。人づくりの観点から、統合後もこれまでと変わらない配慮をお願いしたい。

▼1学級の人数が多くなると、「チームティーチング」といって複数の先生による指導を展開する。今回の学力調査の結果は、子どもたちの基本的な生活習慣や人の話をしっかりと聞く姿勢ができていくことが大きい。このことは人数の多少には関わらない。将来もこういう点でしっかり育てていきたい。

▽洪水の危険がないところに建設してもらいたい。

▼学校は災害時の避難場所という役目もあり、十分検討したい。

【合川北小（平成20年2月14日）】

▽再編計画では1学級20人を割らない程度を確保したい、とある。ただ、40人近い人数だと先生の負担が大きく、目が行き届かないのではないかと。

▼グループ活動や理解度に応じ、チームティーチングを行い、少人数編成で行う体制をとっている。そのため、統合後の規模になると加配の先生が配置される。

▽校舎の場所は決まっているか。

▼統合することで意見がまとまった

後、地域の方々の話し合いによって決定することになる。

▽合川中付近については水害のことを考えると誰も「よし」といわないのではないかと。高校統合後の合川高の校舎を活用することは考えられないか。

▼災害への対応、そして樹木等の環境も考え、まずはよいアイデア・意見を出していただき、話し合いで決めていきたい。

▽現校舎は古くなってきているとのことだが、耐震性はどうか。

▼合川地区は4校とも耐震診断の対象。校舎を残す場合は診断と補強工事が必要となる。しかし、財政事情から予算措置できていないのが現状。

▽建設費はどれくらいかかるのか。

▼校舎で8億から8・5億、体育館で2・5億、このほか、プールやグラウンド、用地などを考えると15億円の見込み。放課後児童クラブ、給食設備なども考えると20億近くになるのではないかと。

【浦田小学校（平成20年2月19日）】

▽森吉地区と合川地区の人口規模は同じだが、合川地区は統合1校となるのに対し、森吉地区は前田と米内沢の2校の計画。1校でもよいのでは。

▼前田小は合併前から決議されていた

たもので、地元では将来児童数が減少することを理解した上での建設意だった。

▽前田小との統合は考えられなかったか。

▼学区を旧町の区割りと考えている。ただ、浦田小学区のうち浦田は米内沢地区、桂瀬は前田地区に属するが、在学中の児童が別々にならないで、一緒に米内沢小に行ってほしいとの考え。みなさんがいっしょに前田小、もしくは桂瀬は前田ということであれば、柔軟に対応したい。

▽複式学級解消にこだわらず、少人数であっても子どもにとって良い教育環境を考えてほしい。

▼今の法律では、1年生は2年生を含めて8人を超えないと、他の学年は2学年合わせて16人を超えないと複式学級になってしまう。

▽米内沢小学校も古い校舎だと聞いているが。

▼合川東、米内沢は耐震補強を急ぐ必要がある。後期計画では新築を計画している。

▼なお、統廃合をきっかけに地域がバラバラにならないように願っている。



◇鷹巣地区外来センター◇

全会一致で「必要なし」

北秋田市医療整備（外来センター）検討委員会

2月6日に発足した北秋田市医療整備（外来センター）検討委員会（奈良正人委員長）は27日、鷹巣地区外来センターについて、「全会一致で設置の必要はない」と岸部市長に答申しました。

平成17年9月に策定した北秋田市医療整備基本構想では、市民病院の開院に合わせ、北秋中央病院跡地に「鷹巣外来センター」を整備する計画が盛り込まれていました。

市では平成21年10月の北秋田市民病院開院時の外来センターの必要性と、北秋中央病院が廃止になることにより、中心商店街の活性化への影響なども懸念されることから、

この結果、検討委員会では、鷹巣地区は個人開業医が16あり、医療レベルの高い専門医で構成され、北秋中央病院が無くなったとしても外来患者の引き受けについては十分対応可能である。

▽鷹巣地区は1次医療が充実しており、更なる外来センターは必要ない。

▽新病院の医療機能及び個人開業医の専門診療科等を広く周知してほしい。

▽市民の新病院へのアクセスについては、バス輸送も確保してほしい。なお、地域医療全体を考慮し、市民病院と個人開業医等を回る循環バス形式が望ましい。



北秋中央病院跡地の利用についての意見も多数出されました

北秋田医師会、開業医、商工団体、市民から広く意見を伺うことにしたものです。

検討委員会は、今月6日と22日の2回開催され、基本構想策定時からの変更点についての資料ほか、鷹巣地区の個人開業医を含めた受診体制に関する資料などを参考に審議を行ないました。

などの意見がありました。

このほか北秋中央病院廃止にもなう跡地利用について意見が多数出されました。

岸部市長は「答申結果を尊重して結論を出したい」とコメントを出しました。

市長日誌

◇2月16日～28日

2月17日（日）▽市民プール一日開放へ参加（市民プール）

2月19日（火）▽2月19日付け人事異動にかかる辞令交付式（市役所応接室）

2月20日（水）▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合正副管理者会議および議会に出席（森吉支所）▽北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議（森吉支所）▽北秋中央病院運営委員会に出席（ホテル松鶴）

2月22日（金）▽第59回全国植樹祭第4回北秋田市実行委員会に出席（交流センター）▽北秋田市民医療整備検討委員会へ出席（中央公民館）

2月23日（土）▽北秋田市体育協会主催「スポーツ賞授与式」に参加（文化会館）

2月24日（日）▽第15回秋田文化フォーラムに出席（東京法曹会館）

2月25日（月）▽衆議院議員野呂田芳成氏の在職30年並びに「思い切らなければ必ず遂げるなり」出版を祝う会に出席（能代市平安閣）

2月26日（火）▽公立米内沢総合病院職員に対する説明会に出席（米内沢総合病院）▽同労組との団体交渉に出席（同）

2月28日（木）▽平成20年北秋田市議会3月定例会に出席（市議事堂）

お野立所など式典会場の模型を公開

第59回全国植樹祭 6月15日開催

全国植樹祭の開催に伴い、建築されるお野立所などの式典会場の模型が3月3日、北秋田地域振興局の入口ロビーで公開されました。公開された式典会場の模型は、表参道ヒルズ（東京）の設計などで知られる建築家・安藤忠雄氏（東大特別栄誉教授）が代表を務める安藤忠雄建築研究所（大阪市）の設計をもとに制作。秋田の民家の伝統的様式「中門づくり」のお野立所が中央に配置、その両翼に「秋田杉の回廊」が設けられ秋田らしさを表現しています。

当日は、お野立所に天皇皇后両陛下がご臨席になり、所前でブナ、トチノキ、秋田スギなどをお手植え、お手播きする予定となっています。



精巧に作られた式典会場の模型

自慢の料理を持ち寄り交流深める

ふるさと☆食のつどい阿仁地区と森吉地区

「食・文化・人」について語り合う「ふるさと☆食のつどい阿仁地区」が2月22日、ふるさと文化センターで、同森吉地区が3月6日、森吉コミュニティセンターで開かれ、地域の伝統料理、家庭料理、アイデア料理などを持ち込み、地域の「食」を通して交流を図りました。阿仁地区では、成田和雄さん（料理店店主）と佐藤重任さん（北秋田地域振興局）が阿仁の「ミス玉、フキ、サク」を使った山菜料理の実演を行い、「宝の山・阿仁の山菜」の活かし方をアドバイス。森吉地区では金子ヨさん（森吉婦人会）が野蒜【※この地域では「たまびろ」という】を使った料理3品を紹介しました。



上 たくさんさんの伝統料理やアイデア料理を試食する阿仁中生
下 金子ヨさんによる野蒜を使った実演料理

また、阿仁地区では「食文化あきた考」と題した安部甲氏による講演が行われ、参加者らは阿部さんのアドバイスをメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。森吉地区でも元秋田県農業改良普及員の福岡雅子氏による講演が行なわれ、福岡氏は「食文化は、時代やその地域の生活、気候に強く関係している。家庭料理はその家の知恵や技術が凝縮された財産であり、日常生活の中で意識して次の世代に伝えて残していくことが大切。また、自分の年代の料理にこだわらず若い世代の味にも理解を示して、家庭料理を伝え残していかなければならない」などと地域の食文化について持論を展開しました。



つどいでは、試食を兼ねた食和会で、料理の味比べをしたりレシピをメモするなど「食」の話に花を咲かせ、地域の食文化の素晴らしさを再認識していました。阿仁地区のつどいに参加した阿仁中学校の生徒は、阿仁にはたくさんさんの伝統料理があることを知り、「この食文化を伝えていきたい」と感想を述べていました。

お茶会で「桃の節句」を楽しむ

くたかのす幼稚園「ひな祭りお茶会」

昨年4月に鷹東北・西幼稚園が統合してきた市立たかのす幼稚園（工藤英俊園長、園児20人）で3月3日、「ひな祭りお茶会」が市内の茶道教室の協力を得て開かれました。同園のひな祭りに合わせたお茶会は、表千家小坂キヌエ社中の協力により平成11年より続いているもので今回で10回目となります。

お茶会では、小坂社中のみなさんが、園児一人ひとりと和菓子と釜の湯から点てた抹茶を振舞うと、子どもたちはお茶の準備をしている最中に小坂代表から飲み方の指導をして頂いたとおりの作法で、大きな茶碗を小さな手に持ち、抹茶の微妙な味に少しとまどいながらもお茶会を楽しみました。



お茶とお菓子で楽しんだ「ひな祭りお茶会」

広大な雪原を親子で楽しむ

第28回県民歩くスキーのつどい

第28回県民歩くスキーのつどいが2月24日、県立北欧の杜公園で開かれ、市内外から訪れた幼児から70代まで約300人の参加者が歩くスキーを楽しみました。

大会は、市及び市教育委員会の主催。北欧の杜で行なわれる歩くスキーは、自然との触れ合いを通じた親子のレクリエーションや、広大な雪原を楽しめるのが魅力です。

参加者は自分の体力にあった距離を、それぞれのペースで楽しく滑り、ゴール後は、地元桃集落の皆さんが作った豚汁が参加者全員に振る舞われたほか、合川特産の比内地鶏キリタンポセットや地酒などが当たる抽選会が開かれ、楽しい1日を過ごしました。



北欧の杜公園内のコースで、歩くスキーを楽しむ参加者

森吉山の樹氷を堪能

台湾・韓国旅行エージェンツ招請事業

台湾と韓国の旅行エージェンツが2月20日と28日に、森吉山阿仁スキー場を訪れ、自然が造る神秘の樹氷を堪能しました。

冬の秋田の魅力体験し、台湾、韓国からの観光客誘致を推進するため、県と県観光連盟が主催したもので、台湾から8名、韓国から6名の旅行エージェンツが参加しました。

このうち、台湾エージェンツ一行は、仙台から花巻、十和田、仙北市などを視察したあと阿仁スキー場入り。ゴンドラ乗車後20分で「神秘の世界」へ到着すると、壮大な樹氷群の美しさを満喫することができ、宿泊を組んだ旅行商品として企画できると好評を得ていました。



樹氷の美しさを満喫する台湾旅行エージェンツの一行

学びの広場

- 公民館活動 ● 生涯学習
- 文化振興 ● 学校 ● スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

もりよし文化交流会が2月10日(日)、森吉コミュニティセンターで開催されました。

ゲストの火まつり太鼓を皮切りに、子どもたちによる日舞・お琴の演奏・着物の着付け(帯結び)・レクダンス・詩吟・民謡・合唱・ダンス(こども・大人)と続き、最後はゲストのストーンレークスによる演奏が行われ、満席の会場から大きな拍手が送られました。

また、ホール前にはビーズ愛好会・こぎんの会・もりよし写真クラブ・金作之助舎友会・文集『母のひと』の作品が展示され、来場者は独創性あふれる作品の数々にじっくりと見入っていました。

多彩な活動成果発表で交流

森吉公民館「もりよし文化交流会」



◀火まつり太鼓も出演し、交流会の盛り上げに一役買いました

み』の作品が展示され、来場者は独創性あふれる作品の数々にじっくりと見入っていました。



▲日本将棋連盟会員の皆さんのわかりやすい指導で、すぐに駒の動かし方を覚えました(写真は米内沢小児童クラブ)

市伝統文化こども塾「将棋教室」が、2月まで11回にわたり、各地の児童館や公民館などで行われました。教室は、子どもたちが日本の伝統文化を体験し、次世代へ継承することなどを目的として実施しているもので、昨年続き今年で2回目。日本将棋連盟の会員のみなさんのわかりやすい指導で要領を覚えると、対戦では、数手先を読みながら駒をスムーズに運ぶ子、四方をふさがれ頭を抱えこむ子など、みんな真剣に将棋版に向かっていました。

子ども将棋、熱戦を展開 伝統文化こども塾「将棋教室」



▲相撲の礼儀作法にも生かそうとちゃんこ料理づくりに取り組んだ前田小相撲部の児童たち

前田小学校相撲部親の会による「ちゃんこ鍋講習会」が3月2日、前田公民館で開かれ、親子で作ったちゃんこ料理に舌鼓を打ちました。参加したのは、相撲部員や親の会のメンバー約50人。ちゃんこ鍋作りを通して、親子のふれあいを深めるとともに、調理法や食事の作法を学ぶことで相撲競技の礼儀・作法に生かそうと、本年度の家庭教育支援事業の一環として行われたものです。講師は、湯沢市でちゃんこ専門店「浦風」を営む元力士の長澤幸一さん。「鶏つくねちゃんこ鍋」の作り

親子でちゃんこ料理に舌鼓 前田小学校相撲部の親子が講習会

阿仁根子の民俗文化を学ぶ

合川公民館「ろばた講座」

「合川ろばた講座」が2月21日、合川農村環境改善センターで開催され、60名が聴講しました。

この講座は、「明日に向けた社会学」をテーマにした市民講座で、今年30年目を迎えました。

本年度第2回目は、合川地方史研究会、合川文化財保護協会との共催で、阿仁の森ぶなホテル経営の山田博康さんを講師に、「阿仁の風土に生きる」と題して、伝統ある阿仁根子地区のマタギや番楽などについて学習しました。山田さんは、「子どもの頃のにぎやかな根



◀阿仁根子のマタギや番楽について学んだ「ろばた講座」

子であってほしい。地域を何とかしなければ」などと、過疎、高齢化など地域が抱える問題への取り組み、今後の地域のあり方などについて思いを述べていました。

元気いっぱい！に郷土芸能を発表 子どもたちの伝承芸能発表会

方を指導していただきました。親子で役割を分担しながら鍋が出来る上だと早速、大きな茶碗に盛りだつたちゃんこを食べ、元力士が作る「本物の味」を堪能しました。「第9回子どもたちの伝承芸能合同発表会」が3月8日、市交流センターで開かれ、子どもたちが、地域に伝わる伝承芸能を熱演しました。主催は青少年育成北秋田市民会議鷹巣支部。伝承芸能の紹介や子どもたちによる継承活動への取り組みに対する激励などを目的として平成11年度から毎年開催されてきました。会場では、招待された市内の福祉施設を利用するお年よりなど約150人が発表を見守りました。出演したのは、鷹巣西小学校鷹巣祇園太鼓チーム、竜森小学校(上舟木駒踊り)、鷹巣南小学校(七日市奴踊り)、綴子下町子ども会(獅子踊り)の4団体。来場者は、子どもたちが披露する太鼓のリズムカルなバチさばきや、動きのそつた伝統の舞に大きな拍手を送っていました。



◀鷹巣南小学校は伝統の七日市奴踊りを発表

勇壮な駒踊りを披露する▶竜森小学校の男女児童6人

おいし～いさくらもちの出来上がり！

阿仁公民館「チビッコさくらもちづくり」

児童を対象とした阿仁公民館主催のさくらもちづくりが2月23日に開催されました。かわいいエプロン姿の子どもたちは、始めに餅の皮作りに挑戦。白とピンクの生地をホットプレートで伸ばして焼き、見事まん丸に焼き上がりました。

講師の先生に「お店で売ってもいいくらい！」と誉められた女の子や、生地を伸ばしすぎてビッコさくらもちになった男の子もいたり、皆楽しそうに作業をしていました。最後にあんこを包み桜の葉を巻いて出来



◀上手に焼けたかな？チビッコがさくらもちづくりに挑戦！

上がり！自分達で作ったさくらもち、どれも個性豊かでおいしそうに仕上が、味の方も格別のようでした。

高鷹大学「俳句クラブ」展

鷹巣地区の高齢者講座・高鷹大学「俳句クラブ」の皆さんが次のとおり展示会を開催します。今年度のクラブ活動で創作した各会員最高の一句を出展します。皆さんの力作を鑑賞してみませんか。

会場 北秋田市交流センター

展示交流ホール

期間 3月17日(月)～

4月13日(日)



お知らせ
 入札結果の公表《2月》
 《250万以上の契約状況》
 農業災害復旧事業（鷹巣地区）北農災第1工区▽913万3950円▽（有）三浦組／同2工区▽1060万5000円▽（有）畠山重機工業／同3工区▽1398万6000円▽（有）千葉建設／同4工区▽1254万7500円▽（有）長岐建設／同39工区▽1060万7500円▽大館桂工業（株）北秋田営業所（森吉地区）同5工区▽1764万9000円▽（有）細田組／同8工区▽619万5000円▽（有）庄栄組／同12工区▽660万4500円▽（有）神成建設（株）同13工区▽394万8000円▽（有）神成建設（株）同16工区▽3000円▽（有）神成建設（株）同17工区▽934万5000円▽（有）池田建設（株）同40工区▽1433万2500円▽大館桂工業（株）北秋田営業所（阿仁地区）同18工区▽1055万2500円▽古河林業緑化（株）同22工区▽885万1500円▽（有）山一林業（株）同23工区▽1163万4000円▽（有）岸野建設（株）同24工区▽95万9500円▽（有）岸野建設（株）同25工区▽1016万4000円▽（有）岸野建設（株）同26工区▽655万2000円▽（有）岸野建設（株）同27工区▽1170万7500円▽（有）阿仁土建／同28工区▽960万7500円▽（有）鈴謙（有）岸野建設／同30工区▽12200円▽（有）岸野建設／同30工区▽12200円

万4000円▽（有）鈴謙（八幡岱・川井地区）同32工区▽1560万1950円▽（有）伊勢組（羽根山・李岱地区）同33工区▽619万5000円▽（有）喜組（根田地区）同34工区▽932万4000円▽（有）喜組（上杉地区）同35工区▽905万5200円▽（有）伊勢組（三木田地区）同36工区▽753万9000円▽（有）喜組（合川地区）同41工区▽1785万9000円▽（有）三光テクノ（株）大館営業所

河川災害復旧工事（準用河川黒沢川右岸）▽296万1000円▽（有）ビルド・ミヤノ（普通河川今泉川左右岸）▽399万9000円▽（有）成田工業（普通河川大滝沢川右岸）▽291万9000円▽（有）吉勝組（普通河川大沢川左岸）▽400万5000円▽（有）トシ設備工業（普通河川大沢川右岸）▽344万6100円▽（有）吉満組（準用河川蟹沢川右岸）▽325万5000円▽（有）合川水道施設工業所／普通河川サ沢川河川災害復旧工事▽363万3000円▽（有）吉勝組

道路災害復旧工事（市道七日市く松沢線）▽267万7500円▽（有）やまこう／平成19年度村づくり交付金（農業集落排水単独事業）第04204号工事▽1543万5000円▽（有）宗和区／平成19年度村づくり交付金（合川地区）第01204号工事▽1150万2750円▽（有）伊勢組／面整備工事（合川処理区その1）▽367万5000円▽（有）宗和

営業時間 10:00～21:00
 定休日 月曜日

市民プール4月の教室

◎問合せ ☎62-5001

内容	スキューバダイビング教室		成人水泳教室		
	初級水泳教室	中級水泳教室	初級水泳教室	中級水泳教室	
マスク・フィン・シュノーケルを使ってスキューバダイビングを体験します（ボンベは使いません）	泳げない方から、もっと上手に泳ぎたいと思っている方まで、親切丁寧に指導します				
期日	8・15・22・29	3・10・17・24	3・10・17・24	9・16・23・30	
時間	14:00～15:00	16:00～17:00	14:00～15:00	19:00～20:00	
講習料	各教室 月4回 3,000円				
内容	上級水泳教室	健康教室	ストレッチング教室		高齢者健康体操（ADL）
	一緒に練習して大会出場を目指しましょう。細かいフォームも指導します	水中で気持ちよく全身を動かし軽い体操や水中で歩行等を行います。アクアビクスもやります	身体の筋肉をバランス良く伸ばし、筋肉の緊張をほぐして血液の循環を良くし、肩こり、腰痛の改善・予防をします		ADLとは、日常生活動作能力の事で、歩く、立つ、座る動作の維持と向上、回復を目的とし、イスを使って安全に楽しく・簡単に出来る運動です。
期日	4・8・11・15 18・22・25・29	4・8・11・15 18・22・25・29	9・16・23・30	3・10・17・24	9・16・23・30
時間	18:00～19:30	14:00～15:00	10:45～12:00	13:45～15:00	14:00～15:00
講習料	各教室 月4回 3,000円 / 月8回 5,000円				月4回3,000円
備考	プール受付で申込みのうえ、講習料を支払いください※印鑑必要／講習料の他に毎回入館料が必要です（年間券・回数券等も使えます）※一人各教室1回の無料体験ができます				

平成8年12月以前に

旧姓で年金に加入していた方はご注意ください
 ※旧姓の頃の記録が統合されていないことがあります

記録をご確認いただき、お申出をいただくことにより
 記録を速やかに結びつけることができます

- ◆いわゆる「5000万件」の不明記録のうち、旧姓による記録が500万件を超えることが見込まれています。
- ◆これらの年金記録は国民の皆様一人一人に旧姓の申出をいただくことにより、皆様の記録に速やかに結びつけることができます。ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

まずは以下の方法で記録をご確認ください

- ① 鷹巣社会保険事務所 ☎0186-62-1308
 【受付時間】 月～金曜日：8:30～17:15
 ※3月は19:00まで受付時間を延長。
 3月8日(土)、9日(日)：9:30～16:00
- ② 「ねんきん特別便専用ダイヤル」 ☎0570-058-555
 【受付時間】 月～金曜日：9:00～20:00
 ・第2土曜日及び3月9日(日)：9:00～17:00
 ※原則として皆様の基礎年金番号や生年月日をお尋ねし、後日回答票を郵送させていただきます。
- ③ インターネットで（ユーザID・パスワード）
 現役加入者の方は、社会保険庁ホームページから、ユーザID・パスワードをお取りいただければ、同ホームページでいつでも自身の年金加入記録をご覧いただけます。
 社会保険庁ホームページ <http://www.sia.go.jp/>
 記録がもれている場合は社会保険事務所へお申出ください。
 記録の調査・統合の上、皆様に結果をお知らせいたします。

平成20年北秋田市標準小作料

北秋田市農業委員会では、平成20年の小作料の標準額を昨年と同額に決めました。

10アール当たりの小作料は次のとおりとなります。

【標準小作料】

- A地区田 19,000円（基準収量570kg）
- B地区田 15,000円（基準収量540kg）
- C地区田 9,000円（基準収量510kg）
- D地区田 7,000円（基準収量480kg）
- E地区田 5,000円（基準収量420kg）

※また、農作業標準賃金表は、後日、各農家の方々に配布いたします。

◎問合せ 市農業委員会 ☎62-6609

花粉症Q&A

現在、日本人の約20%が花粉症だといわれています。では、花粉症とはいったいどんな病気なのでしょうか。



Q1. 花粉症の正体って一体なんですか。
 花粉症の正体は、花粉に対して人間の体が起こす異物反応です。体の免疫反応が、花粉に過剰に反応して花粉症の症状がでるのです。

Q2. 花粉飛散量は年々増えているのですか。
 スギ花粉の飛散量は年によって大きく変動しますが、近年、戦後に植えられたスギの木が大きく成長し、潜在的な花粉生産能力が高い状態になっています。

Q3. 今は花粉症ではないのですが、今後花粉症にならないためにはどうすればよいのですか。
 大量の花粉に出会うと、体が花粉に対する抗体を産生する可能性が高くなります。

Q4. 花粉症がひどくならないためには、普段の生活の中で何に注意すればいいのですか。
 一般的な注意事項として、睡眠を良くとること、生活習慣を保つことは、正常な免疫機能を保つために重要です。風邪をひかないこと、お酒の飲みすぎに気をつけること、タバコを控えることも鼻の粘膜を正常に保つために重要です。

Q5. 花粉症にはどんな治療法がありますか。
 花粉症の治療には、医療機関で行う薬物療法、手術療法、減感作療法があります。しかし、治療を行うことと平行して、自らが花粉の暴露から身を守ることが前提となることはいまでもありません。

問合せ 市保健センター ☎62-6666

問合せ 市保健センター ☎62-6666

— 健康づくり標語 —
「いつまでも持ち続けよう
笑顔! 元気!」

むし歯のない子(3歳児健診)
森吉会場

櫻田 さら 木戸 石
松橋 りん 三 里
吉田 ゆうま 上 杉
櫻井 みう 鎌 沢
工藤 りく 林 岱
佐藤 ひかる 中 村

献血日程

3月24日(月) 全血

10:00~12:00 北秋田地域振興局
13:00~14:50 鷹巣社会保険事務所
15:00~16:00 北秋中央病院

北秋田市奨学生募集

教育委員会では、奨学資金の貸付制度を設け、高校生・短期大学生・大学生を対象に資金の貸付を行っております。

この制度は、学業が優秀であり、経済的理由により就学困難な学生に対し、貸付審査会での審査を経て学資を貸与するものです。

貸付を希望する方は4月27日(月)までに下記までお申込みください。申込み用紙は教育委員会総務課又は各支所にあります。

◎申込み・問合せ

市教育委員会総務課
☎62-6616

ごみの出し方について

春が近づき冬物の整理や引っ越しに伴いごみの量も増えてきます。今回は問合せの多いケースを紹介しながら「ごみの出し方」を説明します。

燃やせないごみ(金属類・危険なもの)

①ガラス

【鷹巣・阿仁地区】

◆割れたガラス等はそのまま「コンテナ」へ入れてください。(新聞紙等で包まなくてもよいです。)

【合川・森吉地区】

◆名前を書いた市指定の「燃やせない袋」等に入れて出して下さい。

◆どの地区も「燃やせない袋」等は収集の際、集積所に置いていきますので、後で取りに行ってください。

②ストーブ

一番長いところが「1m未満」のストーブは集積所に出せます。



◆灯油タンクを入れる底の部分に灯油が残っていますので、布等で吸い取るかストーブを逆さまにして灯油をカラッポにしてください。

◆灯油タンク内もカラッポにしてください。

◆名前を書いた紙を貼り付けて下さい。

③スプレー缶

収集の作業員がわかりやすいように「大きな穴」を開けて下さい。(できれば表と裏の両方に)

※②のストーブ、③のスプレー缶は出し方が守られず「パッカー車の火災」がたびたび起きておりますので、厳守願います。

※ごみは朝7時30分までに出してください。



◎問合せ 市生活環境課 ☎62-1110
合川支所市民福祉課 ☎78-2113
森吉支所市民福祉課 ☎72-3115
阿仁支所市民福祉課 ☎82-2113



中央公民館定期講座 受講生募集

中央公民館では、市民の皆さんが望んでいる学習や趣味を深めるお手伝いとして、平成20年度に多くの講座を開設しますが、4月から1年間実施する2つの講座の受講生を募集します。

母と子のわくわく広場

入園前(満1歳以上)の子どもと保護者を対象に、集団での遊び等を通じて親子のふれあいを大切にしています。また、子育て中の母親(保護者)の交流・情報交換の場にもなっています。(親子で体操・季節に合わせた作品作りなど)

◆開催日 4月~翌年3月 月1回 第2月曜日
10:00~11:30 定員30組

◆講師 石郷岡順子さん、村上美保子さん

◆対象 入園前(満1歳以上)の子どもと保護者

トライあんぐる(土曜日が楽しい)

子どもたちが集団での遊びや、季節に合わせた作品作り等を体験します。また、自然体験等もあり、人と自然とのふれあいを大切にしたい楽しい集いです。

◆開催日 4月~翌年3月 月1回 第2土曜日
9:00~12:00

◆講師 ボランティアグループ トライあんぐるの皆さん

◆対象 市内の小学生

※両講座とも参加費用は無料です

申込み・問合せ 北秋田市中央公民館 ☎62-1130

消防団員募集~自分たちの街は、自分たちで守る

北秋田市在住の18歳以上の皆さん、北秋田市消防団に入りませんか?

◆消防団とは、消防組織法に基づき市町村に設置されている消防機関です

◆消防団員とは、消防本部の職員と同じく、権限と責任を有する非常勤の地方公務員です

◆消防団員には、年額報酬や退職報償金(5年以上勤務)、出勤手当が支給され、活動中であれば公務災害補償等が受けられます

◆活動内容は、消火活動はもちろん、地震や風水害など大規模災害時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防衛に当たるとともに、平常時には、訓練や住民への広報活動等の役割を果たします

◆消防団班長以上の経験が3年以上あると、申請するだけで甲種防火管理者の資格を得ることができます

◎問合せ 北秋田市消防本部 ☎62-1119



■公民館

中央公民館 ☎62-1130

【ロビー展】 七宝焼き講座
3・21(金)~23(日)

第3回北秋田市美術展覧会
=9:00~17:00(23日は16:00まで)

合川公民館 ☎78-2114

【ロビー展】 冥心書道塾(17日~)
27(木)梅の木のとどい=10:00~16:00

森吉公民館 ☎72-3259

【サロン展】

木彫り教室くるみ会(~31日)

29(土)平成20年度森吉婦人会通常総会=10:00~12:00/森吉地区交通安全母の会総会=13:00~15:00/浜辺の歌音楽館「少年少女合唱団スプリングコンサート」=13:00~14:00

阿仁公民館 ☎82-2220

【ロビー展】 作山礼造氏スケッチ展
24(月)布スリッパづくり講座
=9:30~15:00

25(火)~27(木)

ちびっこ将棋教室=13:00~15:00

■文化会館

▼3・28(土)倉本裕基ピアノコンサート2008=18:30~=料一般3500円学生1500円(前売券一般3000円学生1000円)

■みちのく子供風土記館

▼4・4(金)~6(日)金森喜美子押絵遺作展=10:00~17:00(最終日は16:00まで)=入場無料

■スポーツ

▼3・17(月)・24(月)・31(月)

テニス(硬式)教室=19:00~21:00=参加料一人1000円

▼20(木)小林大二郎旗杯小中学校剣道大会=合川体育館

**第24回ふるさと踊りと餅っこまつり
開催日は5月25日**

「ふるさと踊りと餅っこまつり」は例年6月第1日曜日に開催しておりますが、同日に全国植樹祭の総合リハーサルが開催されるほか、「全県商工会おもてなしまつり」が5月25日に鷹巣地区を会場に開かれることから開催日を早めることになりました。

人口と世帯数

総人口	39,089人	(58人減)
男	18,454人	(28人減)
女	20,635人	(30人減)
出生	11人	転入 35人
死亡	51人	転出 55人
世帯数	14,728世帯	(15世帯減)

夜間当番医(夜間診療)日程表

(診療時間 午後6:30~9:00)

日	曜	医療機関名	電話番号
16	日	藤原 医院	62-2882
17	月	佐々木産婦人科医院	63-0105
18	火	盛岡 外科 医院	62-1101
19	水	疋田 外科 内科 医院	78-3338
20	木	公立米内沢総合病院	72-4501
21	金	北秋中央病院	62-1455
22	土	近藤 医院	62-1155
23	日	津谷内 科	62-2261
24	月	児玉内科クリニック	69-7311
25	火	遠藤クリニック	63-0515
26	水	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
27	木	国民健康保険合川診療所	78-3161
28	金	奈良 医院	62-1146
29	土	たむら内科クリニック	63-2700
30	日	うえだクリニック	60-1055
31	月	藤原 医院	62-2882

■次の事項をご確認ください
▼診療の対象となるのは**応急の診察を要する方**です。仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に応じかねます。▼往診はしていません。**年齢・病気の病状にかかわらず事前に当番医に電話等でご相談ください。**



お誕生おめでとう
おめでとうございます

慶弔だより 2月16日~29日届出分

播磨芽衣美ちゃん(智世志 二女) 阿仁比立内
梶原春華ちゃん(勇樹 二女) 太田屋敷後
長岐一遙ちゃん(修 長女) 七日市本郷
佐藤未奈ちゃん(好人 長女) 深 沢



お二人の前途を祝福します

高坂智幸さん 坊沢相善町
成田沙弥香さん 能代市
岩本照義さん 吉野
鈴木麻衣子さん 曲野
金谷哲司さん 新舟見町
梅井恵美さん 阿仁水無

伊東綱吉さん(85歳) 高村岱	伊藤武彦さん(80歳) 鎌 沢
松橋悦子さん(77歳) 杏ほの町	高橋力子さん(85歳) 八幡岱
成田ミヨさん(92歳) 舟見町	近藤健三郎さん(78歳) 米内沢大町
亀山シマさん(96歳) 太 田	石川兼輝さん(74歳) 大 杉
小笠原イサさん(75歳) 東横町	吉田サンコさん(95歳) 向本城
小笠原美津江さん(81歳) 綴子大畑	三浦兵五郎さん(86歳) 浦 田
泉勝藏さん(79歳) 藤 株	藤島一男さん(75歳) 陣場岱
野呂則正さん(87歳) 坊沢緑ヶ丘	日景澄彦さん(83歳) 阿仁銀山
齋藤イネさん(77歳) 新田目	平川ミサヲさん(101歳) 阿仁根子
松橋ツエさん(97歳) 三 里	加賀谷時一さん(84歳) 阿仁戸島内
佐藤イネさん(84歳) 合 川	

おみやみ申し上げます

お知らせ

■市交際費を公開します《2月》
慶弔費3万円(4件)▽会費6万7300円(10件)▽その他4万237円(2件)▽合計13万7537円(16件)
※交際費は市長代理で副市長等が出席している分も含んでいます。
■安全・安心・便利な口座振替
県では自動車税・個人事業税の口座振替をお勧めしています。一度お申し込みになりますと、毎年ご指定の口座から自動的に引き落としになり大変便利です。申し込み用紙は、北秋田地域振興局税務部及び各金融機関各支店にございますので是非お申し込みください。
問合せ 北秋田地域振興局税務部
☎0186-492211

**児童扶養手当を5年以上
受給している方は届出が必要です**

児童扶養手当を5年以上受給している方は、20年4月から届出が必要です。平成15年の法律改正により児童扶養手当の受給から5年経過すると、その一部が停止となる規定がありますが、次の要件を満たしていることを届け出ることにより、20年4月以降もこれまでどおりの手当を受給することができます。(平成15年4月1日時点で既に受給していた方は、平成15年4月1日からの起算となります。)

- ◆仕事をしている方 ◆仕事を探している方
- ◆障害をお持ちで働くことができない方
- ◆疾病や怪我などにより働くことのできない方
- ◆子どもや親族の看護や介護が必要なため働くことのできない方

※対象者には5年が経過するおむね1~2ヶ月前に「児童扶養手当の受給に関する重要なお知らせ」を送付します。内容をよくお読みになり必要な手続きをお願いします。

◎問合せ

市福祉事務所福祉課	児童福祉担当	62-1113
合川支所	市民福祉課	78-2116
森吉支所	"	72-3116
阿仁支所	"	82-2112

平成20年6月15日開催

第59回 全国植樹祭

植樹祭シンボルマーク
森つち



テーマ
「手をつなごう
森と水とわたしたち」
会場 北秋田市「北欧の杜公園」

**学校生活サポート員募集
(市非常勤職員)**

応募要件 子どもとの触れ合いが好きな方
勤務先 北秋田市管内小中学校
募集人員 若干名
業務内容 学校生活全般にわたって児童生徒へ生活・学習支援を行う
任用期間 平成20年4月1日から平成21年3月31日
報酬日額 6,200円
勤務時間 月~金曜日 1日6時間
学校長の命により休日勤務有り。原則、長期休業中に勤務はありません。
応募方法 下記応募先まで、直接または郵送で履歴書(市販可、写真付)を提出してください。なお、郵送による場合は「履歴書在中」と付記してください。
応募締切 3月21日(金)必着
選考方法 1次選考(書類審査) 2次(面接)3月下旬予定
問合せ・応募先 市教育委員会 義務教育課
☎62-6617

毎月19日は食育の日

近年、国民の食生活をめぐる環境が大きく変化し、その影響が顕在化しています。例えば、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、食の海外への依存、伝統的な食文化の危機、食の安全等、様々な問題が生じています。

このような問題を解決するキーワードが「食育」です。

食育推進運動を継続的に展開し、食育の一層の定着を図るため、毎月19日は「食育の日」と定められています。少なくとも週1日は家族そろって楽しく食卓を囲むなど、皆様も、食育の日をきっかけに自分や家族の食生活を見直してみませんか。

問合せ 市保健センター ☎62-6666

